

羅針盤

令和2年度 第9号 (通算 323号)
令和2年 11月 10日 (火) 発行
岡山県総合教育センター 企画部
Tel (0866)56-9102 Fax (0866)56-9122

「教育の情報化ユニット研修」

～GIGA スクール構想推進のために～

現在、GIGA スクール構想を実現するため、教職員や児童生徒の一人一台端末の整備、教育クラウドの活用に向けた準備等が行われていますが、並行して、教職員が ICT 活用指導力を向上させることが必要不可欠です。そのため、県総合教育センターでは、支援策の一つとして、研修資料「教育の情報化ユニット研修」を作成し、順次公開しています。

現段階では、GIGA 端末導入期編として、今後教員に必要と考えられる ICT 活用指導力の基礎的技能を31項目にまとめ、各項目に対応した研修資料をユニットとして作成しています。ユニットごとに研修テキストと解説動画を準備し、Web ページに掲載しているのので、いつでもアクセスでき、最新状態を閲覧することができます。

自主研修や校内研修、各教育委員会開催の研修等、様々な研修がありますが、「教育の情報化ユニット研修」がこれらの研修の橋渡しのような役割を果たすことができると考えています。「他の研修の隙間を埋める」「補完をする」「きっかけを与える」といったイメージで作成しています。

本資料は様々な場面で、それぞれに合った使い方ができます。自己研鑽で用いる場合は、興味・関心に応じてユニットを選択し、動画の再生環境調整等により、自分に合ったペースで進めることができます。また、校内の GIGA スクール構想推進状況を踏まえて目標を設定し、印刷用資料等を用いて校内研修を実施することも可能です。県総合教育センターでも、先日、本研修資料と Windows 端末を用いて所員向けの学習会を行い、教育クラウドの活用について学びました。

また、県総合教育センターの研修講座でも本資料を活用していく予定です。GIGA スクール構想対応の研修講座はもちろん、内容に応じて他の研修講座にも取り入れていくことを考えています。反転学習型の研修に e ラーニングとして取り入れたり、集合研修における演習等で体験する機会を設けたりすることにより、研修講座全体の質が高まり、受講者の学びがより一層深まることを期待しています。

現段階では、すべてのユニットが完成していませんが、順次作成、公開し、GIGA スクール構想の情勢や学校提供の情報等を踏まえ、コンテンツを更新していく予定です。県総合教育センターは、今後も引き続き、「教育の情報化ユニット研修」と本資料を用いた研修講座の充実により、GIGA スクール構想の実現を支援していきたいと考えています。



(Chromebook 編)



(iPad 編)

「一人一台端末を活用した授業づくり研修」(高校教育課開催)において「教育の情報化ユニット研修」を用いた演習を行いました。

教育の情報化ユニット研修

[GIGA端末導入期編]

ICT活用指導力向上のサポートをします！

GIGAスクール構想を実現するため、教職員や児童生徒の一人一台端末の整備、教育クラウドの活用に向けた準備等が行われていますが、並行して、教職員がICT活用指導力を向上させる必要があります。

岡山県総合教育センターでは、研修資料「教育の情報化ユニット研修」を作成し、順次公開しています。ぜひご活用ください。



ICT活用指導力の
基礎31項目

各教員に必要な資質能力



ユニットとして学べる
研修資料

コンパクトに設計

内容・構成

7つのカテゴリと31項目のユニット

- 1 はじめに 1項目
- 2 ICT活用の基礎基本 4項目
- 3 教育クラウドの活用 11項目
- 4 遠隔研修 5項目
- 5 情報教育（情報活用能力の育成） 6項目
- 6 校務の情報化 3項目
- 7 まとめ 1項目

★ 現在一部を公開しています。
順次、充実させていきます。

アクセス方法

eラーニングシステム(e研修所おかやま) 内からアクセス



URL: <https://www4.edu-ctr.pref.okayama.jp/>

Webページイメージ（抜粋）



校内研修や自己研修など、
様々な場面で活用できます。



教育の情報化ユニット研修<GIGA端末導入期編>

【はじめに】

- 1 教育の情報化の三本柱をもとに校内の取組を説明できる。
- unit 1 教育の情報化を考える（教育の情報化概論）

【ICT活用の基礎基本】

- 2 授業の中で実物投影機を活用できる。
- unit 2 大きく映して説明しよう（実物投影機入門）
- 3 授業の中でフラッシュ型教材を活用できる。
- unit 3 一斉指導におけるICT活用（フラッシュ型教材入門）
- 4 タブレット端末の基本操作が分かる。
- unit 4 タブレット端末基礎基本（iPadの基本機能）
- 5 授業の中で効果的なICT活用ができる。
- unit 5 ICTの効果的な活用を考える（授業づくりと模擬授業、デジタル教科書）

【教育クラウドの活用】

- 6 Chromebookの基本操作が分かる。
- unit 6 Google for Educationの基礎基本（Chromebookの基本機能、Gドライブ）
- 7 授業の中でJamboardが使える。
- unit 7 ホワイトボードで共同作業（Jamboardの基礎）
- 8 教材作成でDocumentが使える。
- unit 8 ワープロアプリで文書作成（Documentの基礎）
- 9 教材作成でSpreadsheetが使える。
- unit 9 表計算アプリでグラフの活用（Spreadsheetの基礎）
- 10 教材作成でSlideが使える。
- unit 10 プレゼンアプリで教材作成（Slideの基礎）
- 11 Formsを使ったアンケートが作成できる。
- unit 11 アンケートアプリで集計の効率化（Formsの基礎）
- 12 授業の中でClassroomを活用した教材配信ができる。
- unit 12 授業支援アプリの基礎基本（Classroomの基本操作、教材配信）
- 13 授業の中でClassroomを活用した課題の評価ができる。
- unit 13 授業支援アプリの徹底活用（Classroomの応用的活用、ルーブリック評価）
- 14 Youtubeを使った動画配信ができる。
- unit 14 動画配信アプリの基礎基本（Youtube配信の基礎）
- 15 G suite のアカウントの作成とアプリ使用の設定ができる。
- unit 15 G Suite for Education 管理研修（アカウントの作成と管理）
- 16 クラウド型のドリル教材を体験したことがある。
- unit 16 Edtech の活用（クラウド型ドリル教材の体験）

【遠隔教育】

- 17 Zoomの使い方と必要な機器が分かる。
 - unit 17 Zoomで授業配信（環境整備と基本操作）
 - 18 Meetの使い方と必要な機器が分かる。
 - unit 18 Meetで授業配信（環境整備と基本操作）
 - 19 遠隔で健康観察や連絡ができる。
 - unit 19 初めての遠隔授業（朝の会に挑戦）
 - 20 遠隔授業ができる。
 - unit 20 実践遠隔授業（授業づくりと模擬授業）
 - 21 説明動画を作成できる。
 - unit 21 説明動画の作成（実物投影機のWebカメラ設定）
- ### 【情報教育（情報活用能力の育成）】
- 22 情報活用能力の育成の視点を意識した授業を構想できる。
 - unit 22 学習基盤としての情報活用能力（児童生徒の思考の基礎）
 - 23 授業の中で授業支援アプリを活用できる。
 - unit 23 ロイロノートの基礎基本（ロイロノートの基本機能）
 - 24 児童生徒の思考スキルに焦点をあてた活動を構想できる。
 - unit 24 思考ツールの活用（授業づくり）
 - 25 情報モラルの三つの取組の視点から校内の取組と課題を説明できる。
 - unit 25 情報モラル指導基礎基本（校内の取組を考える）
 - 26 スマホ・ネットに関する児童生徒の実態を把握できる。
 - unit 26 ネット依存を考える（依存度チェック）
 - 27 コンピュータシーショナルシンキングについて説明できる。
 - unit 27 プログラミング教育概論（コンピュータシーショナルシンキング）

【校務の情報化】

- 28 教育活動の中で必要な著作権の考え方を理解している。
- unit 28 教育活動における著作権（著作権の基礎）
- 29 学校内で必要な情報セキュリティの基本を理解している。
- unit 29 情報セキュリティの基礎基本（情報セキュリティの基礎）
- 30 情報セキュリティの基本について児童生徒に指導できる。
- unit 30 GIGAスクール時代の情報セキュリティ

【まとめ】

- 31 GIGAスクール構想の目指す児童生徒の学びを理解している。
- unit 31 個別最適化の学びを考える